

私の公約の一つである「コンベンションホールの再考」。整備が予定されていた「太陽の城跡地」は、中心市街地活性化のための拠点の一つとして将来像が示されてきました。それは、来訪者が滞在・交流でき市民も乙川でのレジャーが楽しめる、眺望にふさわしい空間として活用されること。これらを実現するために、ホテルや飲食店などを誘致すること自体を否定するものではありません。問題なのは、民間投資による整備計画のはずが、80億円もの税金が投入されるホール整備になっていた点。税金を使うのであれば、必要とされるべき機能は何か、どのような活用が市民の利益として還元されるのか、市民の皆様が納得した形で実現されるべきです。

今一度、この場所が中心市街地活性化のためにどうあってほしいか、どう関わっていきたいか、一緒に考えていただきたい。市民の皆様や団体の皆様の様々なご意見をお聞きしたうえで、^{*}将来に向け最善の方向性を出していきたいと思えます。

※詳細については10ページをご覧ください。



岡崎市長
中根 康浩